



2024 年度 進路だより

さくら咲く

第 25 号

2024. 11. 25 (月)

札幌市立札幌北中学校

進路係 発行

◇本日の進路学活は「面接の準備」です。

～ 礼儀正しくマナーを守って面接入試に対応するために～

1. はじめに

「面接試験」に向けての取り組みを本格的に始めましょう。過去に先輩方が聞かれた質問も参考にしつつ、“自分ならどう答えようか？”などと考え、まとめるところから始まります。また、今後は試験場の出入りなどのマナーも含め、担任の先生に練習してもらったりもするでしょう。VTRも用意してありますので、面接の有無にかかわらず真剣に視聴してください。

2. 面接の目的

高校が面接を行う主な理由はおおよ次のようなものです。

1. どのような考えを持ったどのような人物かを知るため
2. 基本的習慣（マナー、常識）が身についているかどうかを知るため
(あいさつ・仕草・態度・言葉遣い・服装・・・)
3. 中学校生活をどのように過ごしてきたのかを知るため
4. 入学したい意欲はどの程度あるのかを知るため
5. 自分の考えを自分の言葉できちんと伝えられる生徒かどうかを知るため
6. 高校のスクールポリシーに合っている生徒かどうかを知るため



面接入試がない人へ。面接が無いからといって、油断はできません。入試の時には高校の先生方は皆さんの様子をさりげなく観察しているからです。すれ違った際のあいさつ、身だしなみ、休憩時間の様子、試験中の様子などから「この生徒は本校にふさわしくないのでは？」と思われるように、普段の生活態度を見直して、あいさつ、遅刻、忘れ物、言葉遣い、授業中の取り組み方などを改善していきましょう。

3. 注意すべきポイント

(1) 普段からの心がけが大事！

「面接の時だけうまくやろう」などと甘く考えてはいけません。言葉遣いや視線、態度などは普段の「癖」ががついていってしまうものです。そんな「癖」については、自分で気づいていない人がほとんどではないでしょうか？ 悪い癖は早めに直し、本番に備えましょう。



(2) 何度も繰り返し、さらに多くの人を相手に！

初めてのみなさんにとって、面接は一度や二度の練習でうまくいくほど簡単なものではありません。そのかわり、回数を重ねれば重ねるだけ確実に上達していきます。担任の先生とばかりではなく、時には違う先生と、友だち同士で、家族と、というように、いろいろな人を相手に経験を積む中で、更に自信をつけることができるでしょう。

(3) 準備した答えを丸暗記するだけでは通用しない！

準備した答えを暗記して答えるだけでは、さらに踏み込んだ質問が来た時に対応できません。面接官は高校の先生ですが、多くの生徒を見ているプロです。受検校についてきちんと調べているか、本当に自分の意見として話しているのか、などを見ている。本心で思っていることや自分で考えていることをしっかり相手に伝えられるように練習するようにしましょう。